

社会科における指導の重点(身に付けさせたい力) ※学習指導要領に照らし合わせて	
ア 知識及び技能	イ 思考力、判断力、表現力等
我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて、選択・判断したりする力、思考判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付ける。

	生徒の学力の状況(課題)	授業における具体的な手立て	手立ての実施時期	成果検証(2月)
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ・地理・歴史どちらも、グラフや表を正しく読み取って活用することに課題がある。ア ・世界のさまざまな地域についての社会的事象や、歴史的事象を大観することに関して、自らの力で課題を見つけ、その原因について追究することが十分できていない。イ 	<ul style="list-style-type: none"> ・地図や統計資料、グラフや文献資料など、多様な資料の読み取り方を指導し、正確に読み取れる力を身に付ける。 ・単元のまとめとして探究課題に取り組み、個人・班・全体での共有や発表を行うことで、個別最適な学びと協働的な学びの充実を図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間 ・単元ごと 	
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフや図表から読み取る力に課題がある。ア ・社会的な事象について自分が学んだことや調べたことを説明することに課題がある。イ 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル資料に記載されているグラフや図表を活用して読み取る力を高める。 ・授業の終わりに、まとめの時間を取り、授業の感想や疑問に思ったこととともに、学んだことをまとめさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎単元 ・毎単元 	
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査において資料を読みとり説明する設問で正答率に課題が見られた。ア ・課題において、選択、判断する力はあるが思考・判断したことを説明したり、議論したりする力が十分に付いていない。イ 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史の授業においては、タブレット端末を活用し、年代ごとに内容を理解できるよう板書を工夫する。 ・タブレット端末を用いて、公民的事象に対してまとめ、説明、議論する時間を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間 ・単元ごと 	

■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等ICTの効果的な活用について
全学年 デジタル教材の活用。【重点:個別】 デジタル資料、地図等の表示。【重点:個別】

■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について
全学年 振り返りシートを活用して、各単元ごとに振り返りを行う。
各単元で目標や見通しをもたせた学習を行う。 各単元ごとにまとめの探究課題を解決する時間を設け、積極的に話し合ったり発表したりすることで、主体的・対話的で深い学びを実現できるようにする。